



小郡市立小郡中学校 令和7年6月25日

小郡中学校だより 第239号

校長 山本 拓



学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成～

学級が共有する学びの風土

小郡中学校には、「学びの風土」を確立するために、「仲間とつながり、共に育つための学習の心得十か条」があります。これは、平成27年(今から11年前)に当時の生徒のみなさんが、自分たちで学ぶ環境づくりをしています。時代の変化によって内容は少し変わりましたが、各教室のみなさんが見えやすい場所に掲示されています。

今回は、授業について書きます。中学校はそれぞれの先生が、自分の担当している学級数だけ同じ内容の授業を行います。学年が変われば、当然内容は変わりますが、同じ学年なら全クラスが、同じ学習をするのは当たり前です。小郡中学校でいえば、一人の先生が一学年を全て教えていけば、三回同じ内容を繰り返すことになります。

ところが、同じ内容・同じ題材だからといって、まるで同じ授業をしているわけではありません。まるで同じ授業には絶対にならないのです。学年の三学級は、それぞれ違います。さまざまな人たちが、いろいろな感情を持ち寄って、それぞれ学級の雰囲気をつくっているからです。

だから、授業の内容とめあてが三学級とも同じであっても、ある学級では、先生が計画したことより多くのことをより深く教えることができても、別の学級では、授業に集中できてない人が多くて、まるでかみ合わず、先生でも授業の途中で投げ出してしまうような学級があるかもしれません。

先生たちは、どの学級も最高の授業にしたいと思っています。

○新しいことを知るといふ喜び ○みんなが参加し、みんなが分かろうと協力する姿

授業は、喜びに満ちたものでなくてはなりません。そして、授業は学級のみんなのものです。そのために大切になってくるのは、

○みんながつくりあげ、理解を深めていこうとする雰囲気

一言で言うと、「学級がつくりだす、学びの風土」です。学級づくり・仲間づくりは、「学びの風土づくり」です。みんなで学ぼうという風土づくりに成功した学級は、一人ひとりの力がズバツと引き出されます。「学びの風土」を確立するために、自分はどうなのか、今の学級はどうなのか、みんなで進路を獲得することができるかを振り返り、これから先のことを深く考えてみましょう。

うきは市・小郡市三井郡中学校総合体育大会〈ブロック大会〉を終えて

6月21日(土)・22日(日)に中体連の夏季ブロック大会が開催されました。

22日の午後からの雨で日程を大きく変更した種目もありましたが、どの部もチームが一つになり、すばらしい試合をみせてくれました。選手のみなさんは、競技に集中し、最後まであきらめない姿勢で試合に臨みました。また、応援している人たちも選手のために熱い声援を送り続ける姿をみて大変感動しました。



サッカー



ソフトボール



ソフトテニス



